

石脇地区要望に対する回答

町内名	松美町	担当課名	建設管理課
要望事項	1. 尾花沢6号線地内道路側溝の改修について（継続要望）		
要望内容	15組地内の道路全体が陥没、雨水が停滞している。段差の是正と、排水が流れるよう改修をお願いしたい。一部側溝を下げれば排水可能な場所もあります。		
回答	<p>側溝の整備については、各地域から多数の要望を頂いていることから、危険性や緊急度を見定めて取り組んでまいります。</p> <p>本要望箇所については、部分的に側溝の補修を行っており、以前よりは流れが改善されております。また、令和7年度からは路線全体の側溝改良を行う予定としております。</p>		

町内名	松美町	担当課名	建設管理課
要望事項	2. 市道田尻石脇線をスーパー堤防道路へ（継続要望）		
要望内容	<p>由利本荘市アリーナが新設されて以来、市道田尻石脇線も交通量が増えています。国道7号線から石ノ花（夢うさぎ敷地）まで、12m歩道付き道路となりましたが、それより東側の子吉川護岸通り由利橋まで、延長を要望しておりました。</p> <p>国土交通省と話し合い、市道田尻石脇線をスーパー堤防道路としていただくよう要望します。</p>		
回答	<p>道路の改良については、各地域から同様の要望を頂いていることから、危険性や緊急度を見定めて取り組んでまいります。</p> <p>本要望箇所については、都市計画道路の見直しにより、現在のところ道路の拡幅改良計画はございません。</p>		

石脇地区要望に対する回答

町内名	東新山町	担当課名	都市計画課、建設管理課
要望事項	1. 石脇郷土資料館東側の丁字路交差点の改良について（継続要望）		
要望内容	<p>この交差点は、①市街地から当町内に進入する車両の他、大浦地区への「通り抜け道路」として活用されており、通行量の多い。②付近には石脇東保育園があり、登下園時には園から近くの庁舎スペース（上の山公民館）まで園児の歩行も多い。③当町内から市街地に走行するには交差点で一時停止となるが、停止線付近が坂路となっており、道路中央寄りに停止しがちである。また、対向車両についても「郷土資料館の生け垣と竹林」で対向車・歩行者・自転車が確認できないにもかかわらず、スピードを落とさずに左折するのを時々見かけることがある。</p> <p>上記事由から、①左折車の見通しを確保するため、生け垣や竹林の剪定回数の増加②道路の拡幅を要望いたします。</p>		
回答	<p>生け垣や竹林の剪定回数の増加については、公園の景観維持のためにも過度な剪定は行っておりませんが、状況を確認しながら見通しの確保に向け、適宜対応してまいります。</p> <p>道路の改良については、各地域から同様の要望を頂いていることから、危険性や緊急度を見定めて取り組んでまいります。</p> <p>本要望箇所についても、危険性や緊急度を見定めながら、整備に向け取り組んでまいります。</p>		

石脇地区要望に対する回答

町内名	長老沼	担当課名	危機管理課
要望事項	1. 防災行政無線の機能改善（きこえずらい、また、声が聴きづらい）（新規要望）		
要望内容	<p>由利本荘市では、防災行政無線を運用して、平常時であっては市の広報やクマの目撃情報等を音声伝達していますが、石脇体育館前の屋外拡声子局は内容が聞き取れない時或いは声が聴きづらい時があります。特に風向きによって或いは家の中にいる場合、その割合が高くなります。防災行政無線が最も活躍すべき災害が予想される悪天候下において市民は、不要不急の外出を控え自宅の中で過ごすのが一般的で、この場合、風雨等の自然騒音で増大で平常時以上に聞こえづらくなることが考えられます。そうであれば、現状での設備は肝心な時にその効力が十分に発揮できないように思います。</p> <p>そこで市への要望ですが、各場所に設置されている屋外拡声子局の音声、音量、音質等に関し、台風等の悪天候下において試験放送を行い、市民の受け止め方をアンケート調査して定量的把握・評価するとともに緊急的に効果的な伝達ができるように不具合があれば改善のご検討をお願いします。</p>		
回答	<p>災害時の迅速かつ正確な情報発信は、市民の生命、身体、財産を守る上で、非常に重要であります。防災行政無線の配置につきましては、広大な面積を有する本市の地域特性を考慮しながら、効率的かつ効果的な整備を進めてまいりましたが、住宅の遮音性のほか、気象条件などにより聞こえにくい場合もあり、屋外子局（スピーカ）のみで全地域をカバーすることは、非常に困難であると考えております。</p> <p>そのため、災害情報などの発信につきましては、防災行政無線のほか、防災メール、テレビ、ラジオなどマスメディアとの連携や、広報車、市ホームページやインターネット(SNS)などあらゆる伝達手段を多重的に活用し、周知を図っているところであります。</p> <p>また、今年度は、防災行政無線や、防災メールの情報を電話で聞くことができる新しいサービスを開始しており、今後、一層の情報伝達手段の充実に努めてまいりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。</p>		

石脇地区要望に対する回答

町内名	長老沼	担当課名	危機管理課
要望事項	2. スマホ等を活用した防災情報に関する基礎的事項の周知・宣伝（新規要望）		
要望内容	<p>由利本荘市では、携帯電話のメールを活用した情報の一斉配信が可能な「消防・防災メール」の登録の推奨、或いはスマホを活用し災害発生時の避難情報の傍受等が可能な「Yahoo!防災速報」アプリのダウンロードの推進を呼びかけていますが、市民はこれらの機能を有効活用するに至っていないように思います。市民がこれを活用するためには、登録に至るスマホ等の操作要領、得られる情報の内容等の理解が必要です。市は県立大生から学ぶ高齢者向け「スマホ相談会」を開催して普及に努めていますが、より多くの市民が短期間に知識を得る手段としては紙での宣伝がよいと思います。チラシが出回れば個人での対応はもとより、小さなコミュニティーや友人知人が集まる機会での普及が考えられます。結果として市民が災害に備え、被害に遭わないようにという市が進めるスマホ等での防災情報の活用に関してホームページに載せている手続き的な内容を誰にでもわかりやすく説明したものを広報ゆりほんじょうにチラシとして綴じ込む（一度だけでなく度々実施）等上手に宣伝すれば効果的と考えます。なお、市民の中には「NHKニュース防災」アプリ等他の防災情報入手手段を活用している場合があるので、違いがわかる説明も必要かと思えます。</p>		
回答	<p>インターネットやスマートフォンなどデジタル技術の普及により、現在、防災情報はさまざまメディアで提供されており、市では、「消防・防災メール」の登録や、「Yahoo!防災速報」アプリを紹介し、防災情報の収集方法の周知に努めているところであります。</p> <p>また、防災知識の基礎的な事項の周知のため、市では、昨年度から広報ゆりほんじょうで「防災コラム」を連載し、防災マニュアルや避難情報の見方や、暮らしに役立つ防災豆知識など防災知識の一層の普及に努めており、今後とも、防災意識の啓発に努めてまいります。</p>		

石脇地区要望に対する回答

町内名	長老沼	担当課名	建設管理課
要望事項	3. 子吉川の石脇側堤防由利橋下にアンダーパスの整備（新規要望）		
要望内容	<p>子吉川の石脇側堤防は、由利橋通りの市道を挟んで東西に続いています。この堤防は散歩、通勤、通学等のため徒歩又は自転車で利用する市民が多くいます。堤防を利用する人の中には橋の近傍横断歩道のない市道を渡る場合があり、複数人が同時に横断する時もあります。歩行者が横断禁止の標識がない車道を横断すること自体は問題ありませんが、車両の直前直後で飛び出す行為は禁止されています。反対に車両は、横断中の歩行者と十分な間隔をあげずに接近すると、安全運転義務違反になります。比較的交通量の多い場所でもあり、特に朝夕の通退勤時間帯は車両が渋滞しのろのろ走っている間隙をぬって横断する人もいて危険を伴います。地域では事故が起きないように各町内会を通じて交通安全の呼びかけはしているところです。</p> <p>そこで市（一級河川の河川管理者ではない）への要望ですが、子吉川の石脇側堤防を利用し市道を横断する人の安全と同市道を車で通行する人の安心のため、由利橋の下を自転車や歩行者が相互に通れる程度の幅で堤防法面を利用したアンダーパスを整備していただきたく、ご検討をお願いします。</p>		
回答	<p>道路の改良については、各地域から同様の要望を頂いていることから、危険性や緊急度を見定めて取り組んでまいります。</p> <p>本要望箇所については、子吉川の流下能力を向上させるために河道掘削が行われた区間であり、その河川断面に道路構造物を設置することや堤防の法面を掘削することは難しいものと考えております。また、子吉川の堤防は、河川を管理するための道路（管理者：国土交通省）であるため、今のところ市が主体となってアンダーパスを整備する計画はございません。</p>		